

令和3年度事業報告及び決算報告

(令和4年6月7日 理事会承認)

I 事業報告

1 事業の概要報告

一般社団法人とくしま森林バンク（以下「森林バンク」）は、所有者の管理が困難な森林を預かり、森林整備を実施することや、経営意欲のある者への売買を仲介する受け皿となるため、令和3年9月に発足した。

特に森林整備の中心である間伐については、森林吸収源として整備することで、国が認める「J-クレジット」を発行し、その売上げを間伐費用や森林の買取りの一部に再利用するという全国でも初めての事業展開をする事を目標とした。

事業初年度の令和3年度は、日亜化学工業(株)様からの寄付金のご支援により、所有者が売却希望の森林を102ha買い取り、属人による森林経営計画を樹立し本格的な森林経営を開始した。

又、市町や徳島森林づくり推進機構・ハローフォレストと連携し、森林所有者の皆様からの委託を受け、森林経営の長期の受託管理を開始するなど、今後バンクが事業展開を図るための「礎」を築いた。

(1) 森林管理受託事業

これまでハローフォレストが実施した森林所有者の意向調査の個別事由を詳細に分析することで、その森林に応じた施業委託の方法や必要な施業、さらには森林の売却希望による分類や解決方法を検討し、各地区での森林バンクの受託予定森林の抽出等を行い、所有林の経営を委託したい旨があった森林所有者から約277haの森林管理を受託した。

また、3月には、(2)による取得森林を基礎に、受託森林を加えた森林バンクの全所有森林の森林経営計画の認定を取得した。

(2) 林地保有合理化事業

令和3年度は、森林バンクが森林所有者の意向調査に基づき、森林経営計画の樹立に必要となる約102haの森林を取得した。

また、今後の林地流動化を推進する準備として、取扱等の要領の制定、森林の売買のプラットフォームとなる、森林バンクのホームページを作成した。

(3) 森林整備事業

バンクの所有森林と受託森林を合わせた約379haについて、県南部5市町が構成する「南部森林管理システム推進協議会」を通じて、「放置林整備事業」の対象として次年度から計画的な間伐事業ができるよう準備を行った。

(4) J-クレジット事業

「J-クレジット」の発行に向けての情報収集、又、その基礎となる「森林経営計画」を策定した。